



第170号 2015年 8月号(毎月10日発行)

発行 生活協同組合ヘルスコープおおさか

発行責任者 中谷 清

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3-6-24

☎06-6915-8855 F A X 06-6915-8822

編集 広報委員会

ヘルスコープおおさかの現勢

2015年 6月30日現在

組合員数 73,931人

出資金 1,650,988,000円

平均 22,331円

ホームページアドレス

http://www.health-coop.jp/index.html

E-mail sosikibu@health-coop.jp

\*転居・家族の異動等があった場合、上記にご連絡下さい。



戦争法案を廃案に！おおさか1万人大会

STOP! 戦争法案

戦後70年・被爆70年

憲法九条守って いつまでも平和に

医療費でお困りの方 ぞ存じですか？

無料低額診療

適用条件については各事業所にお問い合わせください。

声明

戦争法案の採決強行に抗議し、採決撤回を求める

生活協同組合ヘルスコープおおさか 理事長 水野 俊和

安倍政権は憲法9条を蹂躪する戦後最悪の違憲立法である戦争法案の採決を、15日の衆議院特別委員会に続き、16日の衆議院本会議でも強行しました。多くの憲法学者や弁護士などの専門家からのこの法案は憲法違反であるという指摘や、審議を重ねるたびに高まる国民の圧倒的多数の反対意見を全く無視した数の力に任せた暴挙であり、断じて許すことが出来ません。

戦争法案の成立を許せば、これまで非戦闘地域に限定されていたアメリカ軍の後方支援活動が戦闘地域でも可能になり、敵の攻撃を受けることは確実です。攻撃を受ければやり返さざるを得ない状況に陥り、「殺し、殺される」戦闘に道を開きます。「限定的」と説明されていた集团的自衛権の行使は、時の政権の判断でいくらかでも拡大でき、事実上無限定で、アメリカの起こす戦争に巻き込まれることは明らかです。

戦後70年間、平和国家として日本が果たしてきた役割を投げ捨て、一人の人間も殺し殺されることの無かった日本を「海外で戦争する国」につくりかえてしまう安倍政権の横暴には満身の怒りを覚えます。

「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」ことが医療福祉生協の理念であり、ヘルスコープおおさかもこの理念実現を目指しています。今回の採決強行に強く抗議するとともに採決の撤回を強く求めます。組合員・職員の総力をあげ、地域との共同を広げ、参議院での廃案を目指すためのかつてない運動を広げていく決意を表明します。

2015年7月18日

この夏 みんなでしよう 「憲法のはなし」



理事 社保平和委員長 室谷 雄二

医療福祉生協が発行している『憲法のはなし』(日野秀逸「虹のブックレット」)をご存知ですか。この本は、かつて軍国少年だった男性が、戦後中学一年生で教科書として文部省発行の『あたらしい憲法のはなし』(以下『あたらしい』)と略)を学び、「9条で日本は戦争を放棄し、平和がきたことを知りました。孫が中学生になったので『あたらしい』の復刻版を送り、憲法を勉強してもらおうにしました」と、

新聞に投書した話から始まっています。『あたらしい』は最初の安保条約が発効した年に教科書ではなくなりました。先日、衆議院で強行可決された安保関連法案(戦争立法は、世論調査でも「憲法違反」と考える人が多数を占める中、異例の事態です。「勝手に憲法を変えるな」「戦争する国にさせない」の声が湧き上がり、若者も立ちあがっています。

「あたらしい」の憲法前文の解説でも「この前文のいちばん大事な考え方は三つあります。『民主主義』と『国際平和主義』と『主権在民主義』です。」と明解です。私たちが医療福祉生協の設立趣意書にも「いのちと健康を脅かす戦争に反対して行動します」とあり、医療福祉生協とは憲法そのものです。

(4面に関連記事)

虹の ネット

私は小学校2年生で終戦を迎えました。兵庫県の伊丹で幼少時代を過ごし、空襲の近くに住んでいましたので、毎日のように空襲を受けました。夕方6時頃には空襲警報が鳴り響き、近所の人達と畑にくっついた防空壕に飛び込むことが日課で、7〜8人がすし詰めで肩を寄せ合って一晩を過ごしたことも何度かありました。焼けてしまった建物もありましたが、幸いにも自宅は無事でした。終戦間近の5月に学校で集団疎開することになりましたが、父親が子どもへの苦労を不憫に思ったのか、石川県の金沢にある父親の両親に子供三人と母親を預けました。その三か月後に玉音放送。家族みんなで正座をしてラジオから天皇の言葉を聞きました。何のことは詳しくは理解出来ませんでした。戦争に負けて悔しく思ったこと、同時に「もう空襲にあわないですむ」とホッとしたことを思い出します。この幼少時代の経験が自分の「戦争反対、平和を守れ」の運動の原点になっています。太平洋戦争では多くの尊い命が奪われました。政府が強行しようとしている「戦争法」ではまた日本は戦前に戻ってしまいます。自分の戦争体験を語りながら、平和を守ろうの声を広げていくことが役割だと思っています。

(古田 文介)



# 脳活性化パズル 図書カードが当たります

## 漢字ナンクロ

### ルール

- ① あらかじめマス目に出ている漢字をヒントに、「使用する漢字」のリストにある漢字を、うまく熟語ができるようにマス目に書き入れていきます。
- ② 同じ番号のマス目には同じ漢字が入ります。
- ③ 完成後、チェック表の漢字を解答欄に抜き出しましょう。できた言葉が最終解答です。

11	6	■	17	6	合	8	■	社
用	■	臨	■	2	■	2	■	徒
4	照	1	12	■	14	7	■	3
記	■	13	■	9	16	■	15	■
■	7	10	6	■	花	17	■	9
5	体	■	12	食	■	使	■	14
光	■	8	味	■	11	■	16	火
15	後	4	■	三	13	8	■	5
媚	■	16	正	■	7	■	1	3
■	■	■	■	■	■	■	■	空

使用する漢字

### チェック表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17			

### 解答欄

11	9	5	3
----	---	---	---

生 日 面 天 水 国 時 風 一 化 地 間 当 会 人 明 中

学研ムック「もっと脳が活性化する100日間パズル②」  
監修 川島隆太(東北大学加齢医学研究所教授)の

## 私たちの ⑥ 脳いきいき班会 病院地区 田淵班



7月13日(月)鶴見区グリーンビュー鶴見マンションにて田淵班脳いきいき班会を開催しました。病院介護福祉士長谷川さんも参加しました。この1ヶ月間の振り返りでは、一人暮らしの方で毎月班会を楽しみにしています。今では月1回みんなで語り合う貴重なコミュニケーションの場になっています。

買物の暗算計算や、心斎橋までお友達とお買い物にいきお茶をして交流を深めたなど、いきいきと報告されていました。ゲームコーナーでは、間違いない記憶力テスト等苦戦しながらも楽しく元気はつらつとやってきました。音読とゲームは必ず担当を決めて3年間やり続けています。田淵班では田淵さん以外一人暮らしの方で毎月班会を楽しみにしています。今では月1回みんなで語り合う貴重なコミュニケーションの場になっています。

### 読者からの便り

○毎週デイサービスでお世話になってます。夫と二人、とても楽しい時間を過ごさせてもらって居ます。いくら感謝しても足りない気持ちです。  
(吉見愛枝84歳)

○医療講座「コグニサイズ」を興味深く読ませていただきました。講演を聴くだけではなく、体を動かしながら自分も参加できる「能動的講座」は、認知症予防にも効果が高いと思われまふ。  
(矢野美香49歳)

○「署名は軍縮のチャンピオン」読ませていただきました。核は不要ですネ。  
(長嶋茂登恵83歳)

○城東診療所リニューアルで段々と美しく成り気持が良いです。患者、利用者さん喜ばれることでしょうか。少々出資をさせていただきましたが、沢山集まると思いますね。  
(岡田幸子79歳)

○なごやかな活動を楽しく拝見しています。食中毒防止で、爪の生え際を意識せよと教わり、はっとしました。  
(作畠春美)

○母の介護で苦労しています。本紙を読んで、他の方の苦勞も知り勇気づけられます。頑張って、介護しよう。  
(中村知恵50歳)

○0円は払って当然だと思えます。  
(江口かや子)

○班会で認知症の学習会を開いています。次は三回目、ご近所の方が楽しみに待っています。  
(高松チヨ子)

○マラソンを始めました。熱中症の記事を読み、こまめに水分補給を、と思えました。  
(内藤佳都子)

○夏は献立で悩みます。「カリカリポテトと豚肉のサラダ」早速作り、おいしくいただきました。  
(津田末孝67歳)

## 私たちが戦争法案に反対です 看護師は命と健康守るのが仕事です



コープおおさか病院4階  
看護師  
矢野 啓子

私の仕事です。これから平和な世の中で医療活動を続けていきたいと思っています。  
最後に、日赤の元従軍

## 歴史の真実学び 平和を守るために行動を



今津生協診療所  
事務  
瀧江 康寛

戦後70年、戦後生まれが人口の約8割を占める。戦争経験者が減る中、昔は祖父母から戦時中の苦勞話をよく聞かされた。しかし、聞かされたのは戦時中に食べ物がなかった、防空壕へよく避難した等で、戦友がどんな悲惨な死に方をしたかなどは聞かされなかった。かわいい孫にはそういう話は酷だと思ひ、話さなかつたのだらう。

学校でも、戦争に対して真実を教えてくれなかつたように思ふ。だからこそ私たちは歴史の真実を学び、尊い生命を犠牲にした戦争を引き起こさないよう次の世代に受け継いでいかなければならない。  
日本は安保法案が衆議院で強行採決され、守られてきた平和が揺らいでいる。何も行動せず人まかせにせず、平和を守るために行動しなければと思う。

安倍政権により日本の安全保障は大きくかたちを変えられようとしています。これまで憲法違反とされてきた集団的自衛権の行使が解釈改憲により可能とされることで、アメリカの戦争に巻き込まれる可能性が高くなってきました。  
自衛隊は殺すか殺されるかの危険な状況に身を置かねばならなくなりますが、後方支援といっても戦闘地域での後方支援です。日本の自衛隊が攻撃の対象になることは十分考えられます。そして私たち医療従事者も有事の際には命令により徴用されてしまうことが自衛隊法第103条で具体的に明記されています。もちろん土地や建物も管理されるので患者さんや利用者さんにも影響します。私は看護師です。地域住民の命と健康を守るのが